



感染予防、新型コロナワクチン3回目

今年も5月に入り、ますます暖かい日が続く月となりました。4月も時々肌寒い日がありましたが、比較的暖かく過ごしやすい日が多くありました。おかげで花粉症をお持ちの方には、とても辛い月であったように思います。5月も気温差のある月ではありますが、体調には十分気を付けて頂けたらと思います。

今年に入り急激に感染拡大となった新型コロナも、3月にまん延防止措置の解除や3回目のワクチン接種開始で、4月に入ってからは感染減少で効果が着実に出ているものと思います。3回目のワクチン接種は4月に本格的に行われておりますので、その効果は5月以降も続くのではと感じております。今年2月に5歳から11歳までのお子様のワクチン接種が可能となり、12歳から18歳までのお子様も3回目ワクチン接種が可能となりました。各世代がワクチン接種を行う事で、さらに感染抑制が出来るのではと思います。ただオミクロンの後にもあらたなウイルスが発見されておりますので、ワクチン効果がどこまで対応できるかは未知数な部分ではと思っております。

社員の皆様にはワクチン接種の有無にかかわらず、引き続き感染予防の周知にご理解を頂き、今後も予防対策の心がけを引き続きよろしくお願い致します。またワクチン接種を受けたことによる副反応や後遺症は、まだまだ分からない事がありますので、社員皆様には健康管理の方を引き続きよろしくお願い致します。

それでは5月も1ヶ月間、引き続きよろしくお願い致します。

社長 太田 聡
編集担当：島

作業や環境から考えるポカヨケ(第3回)

作業や環境から考えるポカヨケの第3回として、引き続き紹介していきます。

3. 作業時間/休憩時間

作業時間や休憩時間は、「疲れ」や「眠け」に影響する。「疲れ」や「眠け」は、人間の「注意の量(強さと時間)」にかかわっており、ポカミスに繋がる場合がある。「**身体的機能の低下を防ぐ**」ことがポイントとなる。

ポイント	①作業環境を適正な状態に改善する(※温度、湿度、明るさ、騒音、振動、臭気などが作業者の許容限度を超えないようにする) ②過酷な作業を機械化する ③作業の継続時間と休憩時間を適切に組み合わせる
------	---

4. 仕事のリズム(平準化)

人間がポカミスをする条件に「**仕事量の過大と過少**」がある。仕事量の過大、過少は、習慣化された作業速度を逸脱させるところに問題があり、その結果として、「確認ミス、判断ミス、動作ミス」などのポカミスを引き起こす。

ポイント	①適正な範囲での作業速度変動に抑えるように作業を計画する ②仕事量が少ないときでも、決してゆっくり作業をせず、規定の速度(時間)でやり終える ③ 仕事量が多いときでも、「出来映え確認」は必ず実施する
------	--

Windowsの豆知識

手順書や取説などの作成の際にスクリーンショット（画面のキャプチャ）を撮ることがあるかと思います。今回はWindowsでのスクリーンショットのちょっとした小技を紹介します。

・「PrintScreen」キーで全画面キャプチャ

「PrintScreen」キーを押すと、デスクトップ画面全体のスクリーンショットがクリップボードに一時保存されます。エクセルやワード、ペイントなどのほかのアプリに貼付け（ペースト）を実行すると画像として表示されます。
※ノートPCなどのコンパクトなキーボードでは、「PrintScreen」キーを使うのに「Fn」キーとの組み合わせが必要な場合があります。



・「Alt」+「PrintScreen」キーで選択したウィンドウだけをキャプチャ

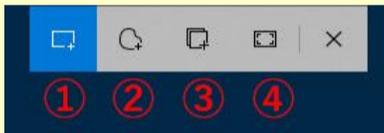
「Alt」+「PrintScreen」キーを同時に押すと、アクティブウィンドウ（現在操作中の最前面ウィンドウ）のスクリーンショットがクリップボードに一時保存されます。



・「Win」+「Shift」+「S」キーで画面の一部をトリミングしてキャプチャ

デスクトップの一部だけをスクリーンショットとして切り取りたい場合は「Win」+「Shift」+「S」キーを組み合わせます。これら3つのキーを同時に押すと画面が暗転し、マウスでドラッグした範囲をクリップボードに一時保存できます。

「Win」+「Shift」+「S」のショートカットキーは万能で、キーを押した直後、画面上端に下図のようなメニューが現れます。画面の一部を切り取るだけでなく、選択したウィンドウのキャプチャや全画面キャプチャなども「Win」+「Shift」+「S」キーから行えます。



- ①マウスでドラッグした箇所を四角形でキャプチャする「四角形の領域切り取り」
- ②マウスで自由に囲んだ箇所をキャプチャする「フリーフォーム領域切り取り」
- ③指定したウィンドウをキャプチャする「ウィンドウの領域切り取り」
- ④画面全体をキャプチャする「全画面表示の領域切り取り」

編集担当：島

二宮金次郎像

先月号まで二宮金次郎の考え方などを紹介しました。考え方や功績は知らなかったけど、学校に銅像があったから「二宮金次郎」という名前は知っていたという方も多いと思います。そこで今回は、二宮金次郎像について紹介します。

小中学校に像が出来たのは、中村直吉氏が金次郎像83体を寄贈したのが始まりと言われています。夫人が社会の為に役立てて欲しいと積み立てた貯蓄をもとに、昭和3年天皇即位を記念して寄贈しました。それをきっかけに全国の小学校でも金次郎像設置が広まりました。戦時中は物資不足を補うため、金属を供出するよう命令が出た為、金次郎像も溶かされ武器などの材料になってしまいました。現在残っているものは戦後再建されたものです。

しかし近年、「児童労働」や「ながら歩き」といった意見もあり、像の撤去が進んでいるようです。報徳博物館や報徳二宮神社では、やむを得ない事情で行き場がなくなってしまった金次郎像を引き受けています。

では、そのような流れの中、身近なところの金次郎像はどのような状況なのでしょう。

磐田市には22の小学校があり、金次郎像は17体あるようです。銅製、陶器製、コンクリート製の3種類があります。コンクリート製のは、金属製のものが戦時中に物資として提供された為、戦後に再建されたものです。銘文によると磐田市内で最も早く作られた像は、竜洋西小学校にある昭和8年2月建立のものです。

磐田市では、昨年豊田北部小学校が豊田中学校の敷地に移転し一体となりました。昨今の流れから金次郎像が撤去されたのではと思いましたが、金次郎像も移設されております。また、磐田市の隣の隣、掛川市では「報徳の教えが息づくまち」としてまちづくりを進めていることもあり、2014年12月に市内の全小学校に金次郎像が建立されました。

身近なところには、まだまだ金次郎像があります。前回までご紹介した二宮金次郎の考えや生い立ちを踏まえて、先人に学ぶという視点で二宮金次郎像を見てみて戴ければと思います。

編集担当：伊藤

編集担当より

五月という言葉で連想される言葉として、「五月病」を聞いたことがある方は多いかと思います。医学的には存在しない言葉のようです。4月から始まった新生活で気づかないうちに無理をして、ストレスがたまり、身体のだるさ、意欲がわかないなどの症状が現れることがあります。特に几帳面でまじめ、嫌と言えずに物事を引き受けてしまうといったタイプの人に多いと言われていますので、自分に合ったストレス解消法を見つけてストレス発散をしましょう。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004
静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地
TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898
URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当：管理室

発行日 令和4年5月1日